

# 物語 10月



## 灼熱の戦い今ここに！三冠目指していざ出陣！

## スポーツの秋

～3年1組の考えたスローガンが全校の体育祭スローガンに選ばれました～

9月28日、快晴の空の下、体育祭が行われました。毎日練習し、学年、学校全体をリードした応援団・ソーラン実行委員・ダンス実行委員のメンバーを紹介します。

応援団 紅組	応援団 青組
団長：古谷 拓朗くん 副団長：谷村 百恵さん 団員：畑田啓介くん、竹本琢朗くん、篠原 皐樹くん、平出章人くん、梅田翔子さん、 小池萌美さん、小泉綾夏さん、小沼華奈さ さん、北村杏奈さん	団長：小鷹 優介くん 副団長：中尾 輝さん 団員：市川大輔くん、江藤弘太郎くん、中 村駿也くん、山田良憲くん、伊藤輝くん、 勝又彩花さん、大塚彩乃さん、藤井菜々夏 さん、小谷佳那子さん

### ☆ソーラン実行委員

実行委員長：大家 敬太くん 副実行委員長：川端 大夢くん  
 佐藤拓海くん、中平明伸くん、牧野優大くん、今西司くん、林修平くん、渡部隼平くん、  
 大木真樹くん、兼子歩くん、江藤周くん、舟橋諒太くん、丸山一輝くん、大山皓人くん、  
 白石司くん、斎藤佑介くん、浅田拓くん、格和達也くん、工藤大誠くん

### ☆ダンス実行委員

実行委員長：宮田日菜子さん 副実行委員長：高橋 美奈さん  
 大橋葵さん、進藤有紗さん、岩間鈴果さん、江幡沙希さん、高野紬さん、木村詩歩さん、  
 吉田茉由さん、古谷萌々子さん、町田千佳さん、市原萌花さん、中臺麻純さん

お疲れ様でした！！！！

## 合唱コンクールに向けて

今月末、30日にいよいよ中学校生活最後の合唱コンクールがあります。もしかしたら、一生のうち30人以上で歌う最後の合唱になる子もいるかもしれません。何事も、本気で取り組むと3つの良いことがあります。

それは・・・

**本気でやると、大抵のことはうまくいきます。**

**本気でやると、困った時に誰かが助けてくれます。**

**本気でやると、楽しいです。**



2学期最後の大きな行事。賞を獲得することを目標にするのも良いけれど…仲間と共にひとつの歌声をつくる喜び、楽しさ、一生懸命に、本気で取り組むことの素晴らしさ・・・何か、学ぶことができると良いですね。いよいよ来週からは帰りの会の時間を延長して本格的な練習が始まります。仲間と共に、練習から頑張ろう！！

♪学年合唱曲・各クラス自由曲の指揮者、伴奏者をご紹介します。

学年課題曲：桜ノ雨	指揮者：藤井菜々夏さん	伴奏者：伊藤菜月さん
-----------	-------------	------------

クラス	自由曲	指揮者	伴奏者
1組	虹	吉田彩乃さん	鶴丸夢菜さん
2組	3月9日	小池萌美さん	伊藤菜月さん
3組	海の匂い	岡部優香さん	瀬尾菜々子さん
4組	道	小森美奈子さん	山野詩織さん
5組	言葉にすれば	高橋蒼くん	本間友梨さん
6組	流浪の民	櫻岡莉子さん・鈴木優花さん	寺尾花奈子さん
7組	島唄	渡邊道哉くん	田中涼代さん

夏休みの課題、読書感想文を紹介します。(抜粋)

## 読書の秋



### 「手紙」を読んで K.S

(前略) この本のあらすじです。引越し業者でアルバイトしている兄の剛志と、勉強のできる弟の直貴が主な登場人物です。彼らは両親を小さい時に亡くしました。ある日、剛志が以前アルバイトで訪れた裕福な家に強盗に入り、おばあさんを殺してしまいます。その後の直貴の話です。

もし、僕が直貴と同じ立場だったら、悲しく思うところもあるし、逆に怒りも感じると思います。そんな方法で金を手に入れるくらいなら、ちゃんと働いてくれと思います。一方、僕が犯行に及ぶ前の剛志だったら、直貴に大学に進学してほしいし、良い会社に勤めてくれることを願うでしょう。けれど、僕はそんなことをしないとします。警察に見つかったらどうしよう、などとためらうはずです。(略)

直貴はこの後、この事件のことで社会から差別を受けます。そして、次第に剛志のことも恨むようになります。恨んで当然だと思います。剛志のせいで、差別を受けているので当然です。差別を受けているところを読んでいると、なんだか自分のことのように悲しくなります。なぜなら、僕も同じ様な経験をしているからです。

僕は、生まれつき障害を持っています。僕は、日常生活の中で差別を受けます。たとえば、電車の車内で嫌な眼で見られたり、僕が道を歩いていると、僕の事をバカにしたようなことを言われたりします。なぜ僕の事を、バカにするのか意味がわかりません。そういう時、僕は激しい怒りを感じることがあります。逆に冷静な時には、この世の中から、差別がなくなってほしいと思います。こういう経験があったから、僕は差別というものが大嫌いになりました。だから、こういうことを聞くと非常に腹が立ちます。

しかし、この世の中から、差別は永遠に無くならないと思います。理由は、去年の大津市の中学校で、いじめにより二年生の生徒が自殺をした、という事件でもそうでしたが、大体のいじめは大人の見えないところでやっています。(略) というか、そういうこと(いじめ)をやる人は、悪知恵だけが働いたバカです。バカなので気にすることもないと思います。でも、僕もそうだったけれど、どうしてもそれを気にしてしまうのが人間です。母にも同じことを言われたけれど、それが無理だから困っているんだよ……、と思いながら母の話を聞いていたのを覚えています。

けれど、それを実践してみようと、そういうことをする人が、バカにするようなことを言ってきたり、からんだりしてきても無視しました。するとその人たちは、なーんだ、つまんねーの、といった感じで去って行きました。僕はその時、この方法はいいなと思います。今でも続けています。(略)

これからも、いろいろな差別を受けるかもしれないけれど、それに負けないで、粘り強く、前向きな心を持って、悔いのない人生を送って行きたいです。